

滑協第 19-11 号
平成 19 年 8 月 22 日

文部科学大臣
伊吹 文明 殿

社団法人 日本滑空協会
会長 牧野 健

平成 18 年度事業報告および収支決算書（お届出）

当法人の平成 18 年度事業報告および収支決算について、別紙のとおりお届けします。

添付

1. 平成 18 年度事業報告
2. 平成 18 年度決算報告
3. 役員選任の件
4. 定款改定の件
5. 平成 19 年度第 1 回理事会議事録
6. 平成 19 年度第 1 回総会議事録
7. 平成 19 年度第 1 回臨時理事会議事録
8. 平成 19 年度第 1 回理事会・総会資料
9. 監事監査報告

以上

平成 19 年度総会議案第 4 号 定款改定の件

下記理由で議案採決を行いませんでした。

- (1) 文部科学省への届け出が遅れ、審議未了のため。
- (2) 会員の総会出席および委任状提出数が 416 で、会員総数 659 の 63.2%で、3/4 に達しなかったため。

準備完了後、定款改定の議案だけで臨時総会を開催する予定です。

以上

総会 平成 19 年 6 月 30 日 (土) 15:30-17:00 航空会館 801 会議室で開催
出席 会員 18 名 敬称略
秋山崇道、板倉忠興、遠藤里美、大平雅大、甲賀大樹、坂井正一郎、鈴木康一、
玉中宏明、中塚総一郎、中村暢宏、野田迪郎、万場康雄、牧野健、増谷一夫、
吉田茂、吉田正克、谷口良知、山本隆章
事務局：加藤ひろみ
会員総数 659 正会員 651 団体会員 8
有効出席者総数 (出席者 + 委任状提出者) 416
総会員数の 63.2% で総会成立、ただし定款改定総会定足 75% には不足
欠席 (委任状提出) 398 名
議案賛否直接指示 190 名
(議案第 1 号および第 2 号反対なし、第 3 号反対 6 名、第 4 号反対 2 名)
議長委任 156 名
委任者指示 52 名
(坂井正一郎 17、増谷一夫 15、吉田正克 6、高田豊信 3、吉田茂 3、
甲賀大樹 3、市川展 1、万場康雄 1、大友宏之 1、大平雅大 1、野田迪郎 1)
未回答 243 名

議事録署名人：議長牧野健会長より鈴木康一理事および大平雅大理事を任命

議事 (議長 牧野健会長)

最初に吉田常務理事より当協会活動方針全般の説明があった。(添付資料 5)

議案第 1 号：平成 18 年度事業報告 (案) 承認の件

甲賀常務理事より議案の説明があり、質疑の後、全員賛成で承認 (添付資料 1 および 6)

議案第 2 号：平成 18 年度収支決算 (案) 承認の件

甲賀常務理事より議案の説明があり、質疑の後、全員賛成で承認 (添付資料 2 および 7)

議案第 3 号：役員選任 (案) 承認の件

甲賀常務理事より議案の説明があり、全員賛成で承認 (添付資料 3)

任期は平成 19 年 8 月 27 日から平成 21 年 8 月 26 日。

議案第 4 号：定款改定 (案) 承認の件

定款改定のための定足 75% を満足していないことおよび文部科学省への提出がおくれ、
審議未了のため、今回は議案採決を行なわない。

今後準備完了後、定款改定だけのための臨時総会を開催し、改定承認を得たい。

監事監査報告：谷口良知監事より報告 (添付資料 9)

以上で総会閉会

平成 19 年 6 月 30 日

議長 会長 牧野 健

議事録署名人 理事 鈴木 康一

議事録署名人 理事 大平 雅大

(議事録配布時使用)

この写しは議事録原本と相違ないことを証します。

総会 平成 19 年 6 月 30 日 (土) 13:30-15:30 於航空会館 801 会議室で開催

出席 会員 14 名 敬称略

秋山崇道、板倉忠興、大平雅大、甲賀大樹、坂井正一郎、鈴木康一、中塚総一郎、
内藤康男 (団体会員代表熊谷功二理事代理) 中村暢宏、万場康雄、牧野健、増谷一夫、
吉田茂、吉田正克

オブザーバー

監事：谷口良知、山本隆章、岡井紀道理事代理：野田迪郎、事務局：加藤ひろみ

理事総数 19

有効出席者総数 (出席者 + 委任状提出者) 19 総会員数の 100% で理事会成立

欠席 5 名 (議長委任) 未回答 0 名

議事録署名人：議長牧野健会長より鈴木康一理事および大平雅大理事を任命

議事 (議長 牧野健会長)

最初に吉田常務理事より当協会活動方針全般の説明があった。(添付資料 5)

議案第 1 号：平成 18 年度事業報告 (案) 承認の件

甲賀常務理事より議案の説明があり、質疑の後、全員賛成で承認 (添付資料 1 および 6)

議案第 2 号：平成 18 年度収支決算 (案) 承認の件

甲賀常務理事より議案の説明があり、質疑の後、全員賛成で承認 (添付資料 2 および 7)

質疑

基本財産の中の滑空機 (Dart JA2070) は償却年数 5 年の動産で、基本財産にするのは
不適當、改めるべきであるとの監事意見に対して。

増谷理事：Dart JA2070 は除却して財産額を減らすのではなく、海外も含めて売却し
てその額を基本財産にしてはどうかとの意見があった。

甲賀常務理事：基本財産の処理は定款に定められた手順を踏む必要がある。Dart は
基本財産から外す方向で手続きを進める。

坂井常務理事：格納場所の閑宿滑空場の事情からも、ぜひ処置していただきたい。

大平理事：以前、文部科学省からも指摘があった。

議案第 3 号：役員選任 (案) 承認の件

甲賀常務理事より議案の説明があり、下記議論の後全員賛成で承認 (添付資料 8)

状況および議論

状況：定款 13 条で 15 名から 20 名、現在理事候補は添付資料 3 のとおり 21 名おられる。

当理事会で候補者を決定、議案 3 号として総会に提出、承認を得ることになる。

増谷理事：再任意思表示者が 2 名しかいない、他の理事は重任しない意思表示なのか。

牧野会長：退任の意思表示と認識していない。

増谷理事：出席率の悪い理事は退任していただくべき、委任状を出さない理事も同様。

甲賀常務理事：理事は名誉職ではなく、協会目的を実現する社員 (会員) の中で率先
して積極的に活動し、主導しなければ、活動拡大はできない。

吉田常務理事：役割があって任命する方針で、理事としての適任者に就任していただく。
今後、理事には具体的な業務を担当・執行していただく。

増谷理事：定款改定で理事会を 1 回以上としているが、理事会の活動を活発化するのに、
開催回数をもっと増やすべきではないか。

甲賀常務理事：全国の理事が 1 箇所に集合して会議を行なうのは必要な時だけで良い。

かなりの部分は、担当業務をメールを使って進めることが出来る。

大平理事：理事辞退を考えている。

万場理事その他：競技委員としての実績を踏まえ、ぜひ継続して欲しい。

牧野会長：候補者の中で市川展理事および澤田重城理事候補は理事としてよりは滑空競
技振興の面で活躍していただくことを期待し、理事候補から外して残り 19 名を理事

会での議案第3号最終案（添付資料3）として総会に諮りたい。

任期は平成19年8月27日から平成21年8月26日。

出席理事：全員賛成

議案第4号：定款改定（案）承認の件

定款改定のための定足75%を満足していないことおよび文部科学省への提出が遅れ、現在審議未了のため、今回は議案採決を行わない。

今後準備完了後、定款改定だけのための臨時総会を開催し、改定承認を得たい。

監事監査報告：山本隆章監事より報告（添付資料9）

なお下記について早期の着手改善を望むとの提言があった。

- ・ 会計システムの確実化
- ・ 資産の再評価
- ・ 備え付けるべき書類帳簿類の定置化

以上

定款にある事務局に関する理事会承認事項の議決

「定款第19条および第21条の会長の決定にかかわる下記事項につき、甲賀常務理事から、提案説明があり、賛成された。

(1)第19条 常勤役員の手当て

(2)第21条 事務局員の処遇: フルタイム勤務、 社会保険適用。

以上で理事会閉会

平成19年6月30日

議長 会長 牧野 健

議事録署名人 理事 鈴木 康一

議事録署名人 理事 大平 雅大

（議事録配布時使用）

この写しは議事録原本と相違ないことを証します。

総会 平成 19 年 6 月 30 日（土）17:15-17:30 於航空会館 9 F ラウンジ

出席 会員 14 名 敬称略

秋山崇道、板倉忠興、大平雅大、甲賀大樹、坂井正一郎、鈴木康一、中塚総一郎、
中村暢宏、万場康雄、牧野健、増谷一夫、吉田茂、吉田正克、野田迪郎

理事総数 19

有効出席者総数（出席者＋委任状提出者） 14

総会員数の 73%で理事会成立（定款 29 条 定足 2/3）

欠席 5 名

新しく選任された理事が会長および常務理事を互選する理事会

吉田常務理事：平成 20 年 12 月から新法人申請受付が始まり、当協会でもそれに対応する。それ
まで現体制で進めたい。

出席全理事賛成

結論 互選結果

会長	牧野 健
常務理事	坂井 正一郎
常務理事	吉田 正克
常務理事	甲賀 大樹

以上で臨時理事会閉会

平成 19 年度第 1 回理事会・総会資料

理事会・総会で使用した説明資料

- (1) 滑空協会活動指針：吉田常務理事よりプレゼンテーション
中央列は滑空スポーツ団体としての重要事業、左列は現在ほぼ定常的に実施されている事業、右列は会員、理事の積極的参加を得て、今後重点的に整備する必要のある事業である。
- (2) 平成 19 年度当協会活動概要：甲賀常務理事使用
当協会業務は①管理業務と②事業に分類できる。その中でも業務手順がほぼ定まった業務と改善を必要とする業務がある。管理業務は毎年ほぼ安定的に 500 万円程度で、会費から支弁する。
事業領域では、H18 年度は 600 万円程度、史上最高の H17 年度 1250 万円の半分以下となった。3 月に計画したフライトイベントに参加者が無く、助成金を断って延期したのが事業費低下の大きな要因である。
事業経費は助成金、協賛金、参加費で支弁するが、金額が大きく、成否で金額が振れて不安定。現在事務局で実施しているが、プロジェクトで実施すべきである。
- (3) H15-18 年度決算報告：甲賀常務理事使用
単年度だけでなく、継続的に経営状態を見るために用意した資料。
- (4) 役員候補者リスト：理事会で使用
- (5) 委任状はがき意見欄

以上

平成 19 年 7 月 11 日

あて先

当協会会長

H19 当協会理事会・総会議事録署名人

同上

牧野 健 様

鈴木 康一 様

大平 雅大 様

(社) 日本滑空協会 甲賀 大樹

6 月 30 日開催当協会理事会・総会の議事録に自筆でご署名し、押印して下さい。

場所は理事会議事録と総会議事録の合計 2 箇所です。マークしてあります。

その他ご注意

- (1) 文部科学大臣宛表書きは署名していただいた議事録の日付で再度用意します。
提出議事録は原本で無く、コピーをお送りします。
- (2) 当協会理事会・総会の議事録のご署名の下に（議事録配布時使用）云々の場所がありますが、これはコピーを外部に出すとき、原本と同じであることを保証する文面です。署名しないで下さい。
- (3) 書類はまず鈴木先生のお送りしますので、ご署名後、同封封筒で大平さんに送って下さい。
同様に大平さんは牧野さんへ、牧野さんは事務局にお送り下さいますようお願いいたします。

以上

委任状はがき意見欄 (原文とおり転記)

大友宏之氏

役員会総会出席せざる役員は退任すべし。

鹿郷徳夫氏

理事候補大友宏之については、その詳細を牧野会長宛に平成 17 年に報告しており、協会の理事としては人物的に極めて不適當である。理事選任の場合はその判断基準を示してもらいたい。高田豊信氏にも報告したが、反論が無い。

小野一夫氏

定款の改定に限って、旧/新の並列標記頂けるとより明確になると思います。(特に欠席者にとって)

磯部厚志氏

紙で無く、メールの連絡で十分と思う。

河森啓晏氏

予算と決算の差異が大きすぎる(予算の立案がおかしいのではないか?)

兼松雅務氏

会の運営にご苦勞様です。予算と決算(実績)の差があまりに大きいので、計画が実情に合わないのではないのでしょうか。

奥貫博氏

FAI Gliding Commission の Japan の Delegate は Mr.Makino 1 名のみですが、動ける人を Alternate Delegate に登録して前向きに活動した方が良いと思います。(代理出席よりも良い活動になると思います。)

篠原治男氏

私も良いアイデアはありませんが、滑空界を活発化する事を考える必要がある。窓口一本化で会費を支払うと何処の滑空場でも CK を受けずフライト出来る等。

大倉俊彦氏

検査業務の基準確立と検査は 2 年に 1 回
無線検査も有効期間の長期化(2~5 年)
グライダーの FLT PLAN について、C A B の教育
以上目に見える働きかけをやって欲しい。

石戸安志氏

早く小山が再開される様強く望みます。

榊原飛鳥氏

日本滑空記章に対する意識を高めるためのキャンペーンを行なって下さい。

菊池光基氏

私は JA20BB により事故を起こし罰金裁判を受けています。これは右手ダイブブレーキという人間工学を無視した設計によるものです。この問題を追及して行きます。

以上